

# 財務会計研究

担当者 岩崎 勇

開講時期 前期 単 位 2

## ●講義の概要

企業は、自己の行った事業活動の結果を投資家等の利害関係者へ報告を行う。この報告は、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表を使用して行われる。このように、財務諸表は、企業の活動状況を写し出す計算書であり、簿記や会計はこの財務諸表を作成するための理論や技術である。財務諸表の基本形態は、個別企業のそれである。したがって、企業の財務的な状況を適切に分析するためには、個別企業の財務諸表の内容とそれを分析する手法を理解することが必要である。

## ●講義の到達目標

本講は、個別企業で行われている財務会計に関する理論的な知識と実務的な技法の修得を目的とするものである。わが国の企業会計は、現在、会計の国際的な統合化のプロセスにあり、日々急速な変化の中にある。このような変化に適切に対応するために、財務会計における重要事項についての最新の理論的な知識と実践的な技法を身に付ける。

## ●講義計画

- 第1回：会計の基礎
- 第2回：会計処理手続の全体像
- 第3回：財務会計と管理会計
- 第4回：帳簿式手作業会計とコンピュータ会計
- 第5回：損益計算書の構造（1）
- 第6回：損益計算書の構造（2）
- 第7回：損益計算書の分析
- 第8回：貸借対照表の構造（1）
- 第9回：貸借対照表の構造（2）
- 第10回：貸借対照表の分析
- 第11回：キャッシュ・フロー計算書の構造
- 第12回：キャッシュ・フロー計算書の分析
- 第13回：株主資本等変動計算書の構造と分析
- 第14回：課題発表と質疑応答（1）
- 第15回：課題発表と質疑応答（2）

## ●成績評価基準と方法

出席状況、報告内容及びレポートなどをもとに総合評価する。評点配分は、次の通りである。報告内容50点、レポート50点（合計100点）

（注）出席回数が3分の2以下のときには、D評価とする。

## ●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕岩崎勇著『基本財務会計』税務経理協会

〔参考文献〕授業中に適宜指示する。

## ●受講上の留意点

積極的に授業に参加して下さい。